

災害につよい地域づくり

人々はおそろしい水害にたびたびあいながらも、たいへんな努力をして、水害とたたかってきたんだね。

もし、今、昔と同じような洪水がおきたらたいへんだわ。

今、住みよい地域をつくるために、どんなことをしているのだろう？

栃木県では、川をなおすとともに、洪水がおそってきたときに、すぐに対応できるような防災体制をととのえているところです。みんなが安全で安心してくらせる地域づくりに努力しています。

川をなおす(河川の改修)

洪水にあったとき、ひ害をできるだけ少なくなるような工夫をして、工事をしています。

(河道改修) 川を広げたり、堤防をつくったりして、たくさんの水を流せるようにしています。



姿川(宇都宮市)



百村川(大田原市)



御用川(宇都宮市)



荒川(栃木市)

集中豪雨の災害にあった余笹川



なおす前



なおした後

水害を防ぐ体制づくり(ひ害を減らす工夫)

水防活動

水害をできるだけ少なくするために、市町村の消防団のみなさんが水防活動をしています。



水防活動のようす



電柱の黄色い帯、知っていますか？

昭和61年8月5日の台風第10号は、茂木町にとっても大きなひ害をもたらしました。電柱の黄色い帯は、そのときにこの高さまで水がきたことを示しています。こう水は、いつやってくるか分かりません。あのような水害が二度と起きないように、当時のひ害を覚えておくための印でもあるのです。



河川防災ステーション 内川(さくら市)

雨量計・水位計



雨量とは、空から地面に降った雨の高さのことです。



水位とは、川の水の深さのことです。

雨量計や水位計を設置して、豪雨によるこう水などの災害から身を守るように、ひ害が小さくてすむように努力しています。

県の北部	☎028-623-5751
	☎028-623-5752
	☎028-623-5753
県の南部	☎028-623-5754
	☎028-623-5756
	☎028-623-5760

電話で雨量や水位の情報が聞けるんだね。



パソコン版 URL <http://www.dif.pref.tochigi.jp>
携帯電話版 URL <http://www.dif.pref.tochigi.jp/m>

(ダム)

こう水をためて、いっぺんに水が流れないようにしています。



寺山ダム(矢板市)

(遊水地)

こう水をためて、下流に流れる水の量をへらすものです。



渡良瀬遊水地(栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県にまたがっています)

(河川防災ステーション)

こう水のかきは、ひ害をできるだけ少なくするための工事やきんきゅう避難場所になります。また、ふだんは河川に親しむレクリエーションの場所になっています。